

令和6年3月市議会定例会

企画管理部

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和6年度企画管理部所管予算（案）総括表	1 頁
2	有給インターンシップ事業について【新規】	2 頁
3	北信越市長会総会開催事業について【新規】	3 頁
4	移住者受入促進事業について【新規】	4 頁
5	SDGs推進事業について	5 頁
6	選ばれるまちづくり事業について【拡充】	6 頁
7	未来共創推進事業について【拡充】	8 頁
8	センサーネットワーク利活用促進事業について	10 頁
9	スマートシティ推進支援事業について	11 頁
10	スマートシティ推進プロジェクト創出事業について【新規】	12 頁
11	富山ガラス工房開設30周年記念事業について【新規】	13 頁
12	Toyama Glass まちなかショールーム事業について【新規】	14 頁

13	タニノクロウ演劇ワークショップ事業について【新規】	15 頁
14	(仮称) TOYAMAまちなか音楽祭開催事業について【新規】	16 頁
15	富山市芸術文化ホールの特典天井改修及び大規模改修設計業務について	17 頁
	
16	富山市民芸術創造センターの特典天井改修事業について	18 頁
17	基幹業務システム標準化事業について	19 頁
18	バーナーワーク必修科目化事業について【新規】	20 頁
19	富山市ガラス美術館展覧会開催事業について	22 頁

【その他の議決案件】

20	財産の無償貸付の件について	25 頁
----	---------------	------

【報告案件】

21	令和6年4月行政組織の一部改正について	26 頁
----	---------------------	------

1 令和6年度 企画管理部所管予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円、％）

区分 予算科目(款・項)	令和6年度 当初予算(案) A	令和5年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
企画管理部 合計	9,912,121	9,269,674	642,447	106.9
(款2)総務費	9,912,121	9,269,674	642,447	106.9
(項1)総務管理費	3,040,008	2,536,565	503,443	119.8
(項2)企画費	6,793,966	6,674,455	119,511	101.8
(項7)統計調査費	65,267	45,108	20,159	144.7
(項8)監査委員費	12,880	13,546	△ 666	95.1

【職員管理費】

2 有給インターンシップ事業について【新規】

[職員課]

(1) 予算額 619千円

〔 財源内訳 一般財源 619千円 〕

(2) 事業目的

公務員を志望する大学生等が、本市の技術職員が担っている役割やその職務内容を実務体験を通じて学び、市政に対する興味や理解を深めることで、将来の就職先として本市を選択する学生の増加を図り、技術系人材の確保につなげるもの。

(3) 事業内容

大学や大学院等に在籍し、技術系の分野（土木、建築等）を学んでいる学生を、本市の会計年度任用職員として短期間任用し、実践的な業務に従事する有給のインターンシップを実施する。

実施時期 8月中下旬（3週間程度）

受入人数 5名程度

業務内容 技術職員の補助的業務

（設計・積算業務、現場監理、資料作成等）

【企画一般管理費】

3 北信越市長会総会開催事業について【新規】

[秘書課]

(1) 予算額 7,000千円

〔 財源内訳 一般財源 7,000千円 〕

(2) 事業目的

北信越5県（新潟、富山、石川、福井、長野）69市の市長が一堂に会し、国への要望事項に関する議案の審議等を行う「第184回北信越市長会総会」を本市において開催するもの（本市での開催は平成11年5月以来25年ぶり）。

(3) 事業内容

ア. 事業費

負担金（北信越市長会開催市実行委員会へ） 7,000千円

イ. 日程 5月16日（木）から17日（金）まで

ウ. 会場 ANAクラウンプラザホテル富山及び富山国際会議場

エ. 主な参加者

- ① 北信越市長会加盟市長
- ② 全国市長会事務局職員
- ③ 各市随行職員
- ④ 次回以降開催市職員 (総勢 約230名)

オ. 内容

- ① 総会
- ② 役員会
- ③ 分科会
- ④ 市内視察（呉羽丘陵フットパス連絡橋、ガラス美術館、
ブルーバール広場）
- ⑤ 意見交換会

【企画事務費】

4 移住者受入促進事業について【新規】

[企画調整課]

(1) 予算額 3,000千円

財源内訳	国庫補助金	1,500千円
	(デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進)	
	一般財源	1,500千円

(2) 事業目的

首都圏在住で地方への移住を検討している方を対象に、移住セミナーや、本市での暮らしを実感できる体験ツアーを開催するとともに、富山市公式LINE等による継続的なアプローチを行うことにより、移住者の受入促進を図るもの。

(3) 事業内容

ア. 移住セミナーの開催

9月に首都圏で開催される移住フェア（主催 ふるさと回帰支援センター）に合わせ、隣接会場において市独自の移住セミナーを開催し、本市への関心を高めるとともに、移住体験ツアーの参加者を募る。

イ. 移住体験ツアーの開催（想定）

- ・ 食品スーパー、学校・保育園、病院、公共交通等の見学を通じた、日常の「暮らし」の体験
- ・ 移住者が働く企業やテレワーク施設の見学を通じた地方での「仕事」の体験
- ・ 「空き家バンク」登録物件の見学、まちなかのゲストハウスや住宅メーカーのモデルハウスへの宿泊、地域住民宅でホームステイ（中山間地）をすることによる「住まい」の体験
- ・ 移住者との交流会 等

※ 本市までの交通費、飲食費及びツアー経費の一部は、参加者の負担とする。

ウ. 富山市公式LINE等による継続的なアプローチ

移住体験ツアー後は、富山市公式LINE等で、移住希望者に役立つ情報を継続的に配信し、本市への移住に繋げる。

【企画事務費】

5 SDGs推進事業について

[企画調整課]

(1) 予算額 18,752千円

財源内訳	国庫補助金	6,000千円
	(デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進)	
	一般財源	12,752千円

(2) 事業目的

SDGsの普及啓発や富山市SDGsサポーターの取組の支援、推進コミュニケーターの養成等により、市民や企業等の自主的な取組を促進するもの。

(3) 主な事業内容

- ア. SDGs普及展開事業業務委託 16,000千円
- ・ SDGsウィークの開催（1月下旬から2月上旬まで）
 - ・ SDGs推進コミュニケーター養成講座の開催（3回程度）
 - ・ 富山市版オリジナルSDGs学習ボードゲームの開発（新規）
- イ. 富山市SDGs推進事業補助金 1,500千円
- ・ 企業、団体が行うSDGs推進事業への補助
補助率 1/2
補助限度額 100千円 × 15件
補助対象経費 ① イベント開催に係る会場費、印刷製本費、事務費 等
② SDGs普及啓発用のツール制作費
- ウ. その他関連事業 1,252千円
- ・ 富山市SDGs未来都市戦略会議の開催
 - ・ 普及啓発パンフレット等の作成
 - ・ 広報とやまへの特集記事掲載

【企画事務費】

6 選ばれるまちづくり事業について【拡充】

[広報課]

(1) 予算額 83,026千円

財源内訳	基金繰入金（ふるさとぬくもり基金繰入金）	17,014千円
	一般財源	66,012千円

(2) 事業目的

「暮らしたいまち、訪れたいまち」として多くの方々から「選ばれるまち」となるため、戦略的に情報を発信し、本市の知名度の向上、市民の郷土に対する愛着や誇りの醸成を図るもの。

(3) 主な事業内容

ア. 県外向けプロモーション事業（新規） 8,000千円

本年度策定した「富山市シティプロモーション推進指針」に基づき、県外での本市の認知度やイメージの向上を図る。

① 「それって富山市!？」プロモーション事業（新規）

本市を表現する複数の「イメージアップフレーズ」を市民や県外在住者などの意見を基に考案し、それらのフレーズを活用して県外向けプロモーションの積極的な展開を図る。

② 首都圏ダイレクトプロモーション事業（新規）

デジタルサイネージ（電子看板）を活用し、本市のプロモーションを展開する。

[掲出するデジタルサイネージ(想定)]

掲載箇所 首都圏のJR主要駅（約200面）

掲載期間 2週間程度（1時間に10回表示（15秒/回））

イ. ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス開催支援事業（新規） 20,000千円

地方都市では初となる、ディズニーアニメーションイベントの開催を支援する（国内での開催は、東京、大阪に次いで3都市目）。

[ディズニーアニメーションイベント]

期間 令和6年7月20日から10月6日まで

場所 富山産業展示館テクノホール

主催 「ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス」富山会場実行委員会

ウ. PRカレンダー制作事業（新規） 1,485千円

WEBとの連携機能を備え、本市の魅力的な風景等の写真を掲載したPRカレンダーを通じて、本市の魅力を国内外に発信する。

- ・ 卓上カレンダー（万年カレンダー）の制作
- ・ WEBサイトの制作（卓上カレンダーにあるQRコードを読み込むことで、ガラス美術館など市の施設を紹介する。）

エ. シビックプライド醸成事業 14,036千円

「AMAZING TOYAMA」をキーワードとし、シビックプライドを醸成するための各種取組を実施する。

- ・ 本市出身の写真家と連携したフォトプロジェクト
- ・ 市民の写真等を活用したポスターの制作及び掲出

オ. とやまイメージアップ事業 20,138千円

ANAグループとのシティプロモーション連携協定に基づき各種事業を実施する。

- ・ 「地域づくりマネージャー」の常駐派遣
- ・ 首都圏プロモーションイベント
- ・ 本市への来訪を促すための魅力発信キャンペーン

カ. 若者向けプロモーション事業 6,530千円

本市のオリジナルキャラクター「市立探偵ペロリッチ」を活用し、若者向けプロモーションを実施する。

- ・ ショート動画制作及び配信
- ・ SNSを活用したプロモーション

【企画事務費】

7 未来共創推進事業について【拡充】

[スマートシティ推進課]

(1) 予算額 18,456千円

財源内訳	国庫補助金	9,170千円
	(デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進)	
	一般財源	9,286千円

(2) 事業目的

産学官民が立場を越えて対話を重ね、実証と試行を通じて新たな価値を創造する「未来共創」を推進するため、共創スペース「Sketch Lab（スケッチラボ）」を拠点に新たなビジネスの創出や地域課題の解決に取り組むとともに、本市のスマートシティ施策と連携する。

(3) 事業内容

事業の実施主体である「とやま未来共創チーム」が中心となり、共創拠点の「スケッチラボ」を活用し、スケッチラボ会員や市民等を対象に新ビジネスの創出や地域課題の解決を目的とする様々な共創プログラム等を実施する。

ア. スケッチラボの運営 12,256千円

「とやま未来共創チーム」に対し、スケッチラボを管理運営するための負担金を拠出するなど、スケッチラボの機能向上を図る。

イ. とやま未来共創会議の開催 2,200千円

市民参加型の未来共創プログラムとして、「とやま未来共創会議」を開催し、市民等が「富山市スマートシティ推進ビジョン」に掲げたありたいまちの姿を参考に、地域の課題解決策などについて検討するための対話型ワークショップを実施する。

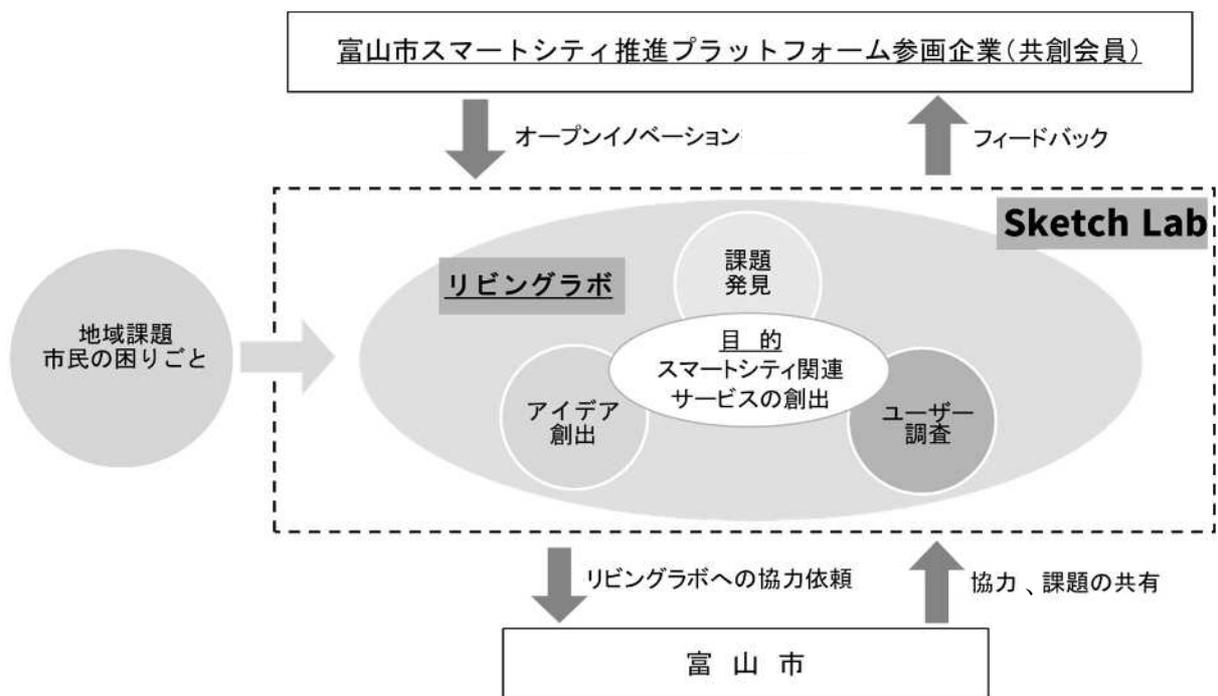
ウ. 新たなオープンイノベーションの取組（新規）4,000千円

昨年11月に設立した「富山市スマートシティ推進プラットフォーム」の会員企業を中心に、新たなスマートシティ関連サービスを創出するため、オープンイノベーションの手法の一つである

「リビングラボ」の運営プロセスの開発や人材育成等を行う。

※ リビングラボとは

「Living（生活空間）と「Lab（実験場所）」を組み合わせた言葉で、研究開発の場を生活空間の近くに置き、生活者視点に立った新しいサービスや商品を生み出す手法。組織外からアイデアや技術を取り入れながら、新たな価値を創出する「オープンイノベーション」を実践する手法として、近年、活用が広まってきている。



【スマートシティ推進事業費】

8 センサーネットワーク利活用促進事業について

[スマートシティ推進課]

(1) 予算額 111,335千円

財源内訳	国庫補助金	43,853千円
	(デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進、 情報通信技術利活用事業費補助金)	
	一般財源	67,482千円

(2) 事業目的

センサーネットワークを活用し、集積したデータを多角的に分析することで、地域課題の解決や新たなサービスを創出するなど、市民生活の質や利便性の向上を図る。

(3) 事業内容

ア. センサーネットワークの更新（新規） 64,020千円

国内事業者が行う現行の通信規格（LoRaWAN）によるサービスが令和7年度をもって終了することから、民間通信事業者が提供するIoTセンサー用通信網に切り替えるとともに、富山県が整備した県内自治体が共同利用できるデータ連携基盤への移行を、令和6年度から2か年で実施する。

イ. センサーネットワークの運用 47,315千円

現行システムの維持管理に係る保守業務などを実施する。

【スマートシティ推進事業費】

9 スマートシティ推進支援事業について

[スマートシティ推進課]

(1) 予算額 26,855千円

財源内訳	国庫補助金	10,500千円
	(デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進)	
	一般財源	16,355千円

(2) 事業目的

令和5年11月13日に設立した「富山市スマートシティ推進プラットフォーム」(2月15日時点で、会員企業数148)における市民の困りごとや地域の課題を解決するためのスマートシティ関連サービスの創出を推進する。

(3) 事業内容

富山市スマートシティ推進プラットフォームの運営

- ・ 会員間の交流やビジネスマッチング機会を創出する総会の開催(年2回)及びデジタルチャットツールの運用
- ・ 「推進ビジョン」や「推進プラットフォーム」をPRするパンフレット及び動画の作成

等

【スマートシティ推進事業費】

10 スマートシティ推進プロジェクト創出事業について【新規】

[スマートシティ推進課]

(1) 予算額 15,030千円

財源内訳	基金繰入金（まち・ひと・しごと創生推進基金繰入金）	10,000千円
	一般財源	5,030千円

(2) 事業目的

「富山市スマートシティ推進プラットフォーム」の会員企業が、本市をフィールドとして行う「富山市スマートシティ推進ビジョン」に資する実証事業を支援することで、新たなスマートシティ関連サービスの創出を目指す。

(3) 事業内容

会員企業の、スマートシティ関連サービスの創出に当たり、アプリケーションの開発やビジネスモデルの試行など、新たなサービスを提供するために行う実証事業に対して補助する。

- ・ 補助率 1/2
- ・ 補助限度額 1件 5,000千円×3件
- ・ 対象経費 ① 事業実施のために必要な従業員の賃金
② 開発費用
③ 打ち合わせに伴う旅費及び通信運搬費

等

【富山ガラス工房事業費】

11 富山ガラス工房開設30周年記念事業について【新規】

[文化国際課]

(1) 予算額 3,000千円

〔 財源内訳 一般財源 3,000千円 〕

(2) 事業目的

富山ガラス工房（平成6年4月開設）の開設30周年の記念事業を行うもの。

(3) 事業内容

本市にゆかりのある各分野の専門家等とともに、本市のガラスの街づくりの歩みを振り返りながら、「ガラスの街とやま」の将来展望について語るシンポジウムを開催する。

<シンポジウムの概要>

- ① 開催日 令和7年2月上旬
- ② 会場 オーバード・ホール／中ホール
- ③ 構成
 - ・ 「富山ガラスの歩み」を紹介する映像上映
 - ・ ガラス作家等ガラス関係者のほか、観光関連事業者や建築家等によるパネルディスカッション

等

関連イベント

- ・ 「ガラスの街とやま連携展」
令和7年2月8日～2月16日 富山市ガラス美術館
- ・ 「（仮称）富山ガラス工房開設30周年記念展」
令和7年3月8日～6月22日 富山市ガラス美術館

【富山ガラス工房事業費】

12 Toyama Glass まちなかショールーム事業について【新規】

[文化国際課]

(1) 予算額 6,680千円

〔	財源内訳	国庫補助金	3,340千円
		(デジタル田園都市国家構想交付金・地方創生推進)	
		一般財源	3,340千円
〕			

(2) 事業目的

TOYAMAキラリや富山空港ターミナルビル内に、富山ガラス工場のサテライトショップを開設し、富山ガラスの認知度向上と販売促進を図る。

(3) 事業内容

ア. 展示場所

- ① TOYAMAキラリ（富山市ガラス美術館）
1階及び2階の遊休スペースを活用。
- ② 富山空港
富山空港ターミナルビル（株）と連携し、ビル2階のギャラリースペースを定期的に活用。

イ. 展示内容

「富山アイコンック」、「富山曼荼羅彩」など、富山ガラス工場の作家や富山ゆかりの個人作家が制作した作品を展示するほか、富山ガラス工場の紹介も行う。

【文化振興事業費】

13 タニノクロウ演劇ワークショップ事業について【新規】

[文化国際課]

(1) 予算額 2,000千円

〔 財源内訳 一般財源 2,000千円 〕

(2) 事業目的

富山市出身の劇作家で演出家のタニノクロウ氏（富山市政策参与）による演劇ワークショップを、演劇部に所属する高校生等を対象に開催し、本市における芸術文化の振興及び演劇人材の育成等を図るもの。

(3) 事業内容

市民とともに演劇作品を作り上げる「オール富山プロジェクト」の第3弾として、タニノクロウ氏の作・演出により令和6年1月に上演された「ニューマドンナ」のキャストや美術スタッフを講師に招き、脚本や舞台美術製作等について学ぶ実践的なワークショップを、県内高校演劇部員のほか、演劇に興味や関心のある学生や市民等を対象に開催する。

<ワークショップの概要>

- ① 開催日 令和7年1月頃
- ② 会場 市民芸術創造センター
- ③ 回数 2回程度（2日間／回）

(参考) 【タニノクロウ氏略歴】

- S51 富山市生まれ
- H12 医学部在学中に「庭劇団ペニノ」旗揚げ。
- H28 「地獄谷温泉無明ノ宿」で第60回岸田國士戯曲賞受賞
北日本新聞芸術選奨受賞、第71回文化庁芸術祭優秀賞受賞
- H30 富山ひまわり賞特別賞受賞
「地獄谷温泉無明ノ宿」（大ホール）
- H31 「ダークマスター2019 TOYAMA」（大ホール）
第36回とやま賞文化・芸術部門受賞
- R2 「笑顔の砦'20帰郷」（大ホール）
- R4 富山市政策参与（芸術文化）に就任
- R5 「ニューマドンナ」（中ホール）

【文化振興事業費】

14 (仮称) TOYAMA まちなか音楽祭開催事業について【新規】

[文化国際課]

(1) 予算額 5,000千円

〔 財源内訳 一般財源 5,000千円 〕

(2) 事業目的

本市の中心市街地の各所において、市内の音楽家や団体等と連携し、音楽ライブやコンサート等の音楽イベントを開催することで、本市の音楽文化の醸成とまちなかの活性化につなげるもの。

(3) 事業内容

ア. 開催時期 令和6年10月(3日間程度)

イ. 開催場所(予定)

富山駅周辺 エリア	オーバード・ホール／大ホール・中ホール、富山駅南北自由通路、富山駅北口・南口広場 など
西町・総曲輪 エリア	市民プラザ、ウエストプラザ、グランドプラザ、TOYAMA キラリ、SOGAWA BASE など

ウ. 主なイベント

- ① 市内の中学校や高校の吹奏楽部、吹奏楽団等による演奏
- ② 富山で活躍する音楽家等によるコンサート
- ③ 桐朋オーケストラ・アカデミーによる「街角のクラシック」

【文化施設整備事業費】

15 富山市芸術文化ホールの特典天井改修及び大規模改修設計業務について

[文化国際課]

(1) 予算額 350,000千円

財源内訳	市債 (公共施設等適正管理推進事業債、緊急防災・減災事業債、行政改革推進債)	220,200千円
	一般財源	129,800千円

(2) 事業目的

平成8年の開館から30年近くが経過した富山市芸術文化ホール（大ホール）について、より安全安心に利用いただけるよう、客席やホワイエ等の特典天井改修及び舞台設備等の大規模改修を行うもの。

(3) 事業内容

特典天井改修設計及び大規模改修設計 350,000千円
(令和5年12月議会で、債務負担行為設定の議決済)

(4) 今後のスケジュール(予定)

令和5年12月25日 設計業務委託契約締結
(契約期間 令和7年3月14日まで)

令和7年 7月頃 改修工事着工

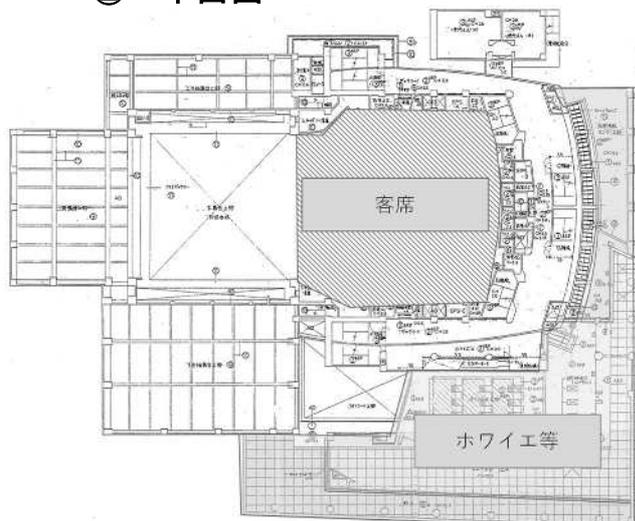
令和7年11月頃から 大ホール休館

令和9年秋頃 リニューアルオープン

(参考) ① 施設概要

建築年	平成8年
構造	地下2階地上5階建 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
面積	敷地面積 8,498 m ² 延床面積 24,255 m ²
改修面積	客席天井面積 950 m ² ホワイエ等天井面積 1,620 m ²

② 平面図



【文化施設整備事業費】

16 富山市民芸術創造センターの特定天井改修事業について

[文化国際課]

(1) 予算額 113,000千円

財源内訳	市債（緊急防災・減災事業債）	110,000千円
	一般財源	3,000千円

(2) 事業目的

平成7年に開館した富山市民芸術創造センターについて、より安全安心に利用いただけるよう、舞台稽古場及びリハーサル室の特定天井の改修を行うもの。

(3) 事業内容

ア. 監理業務・意図伝達業務委託料	3,000千円
イ. 工事請負費	110,000千円

(4) 工期

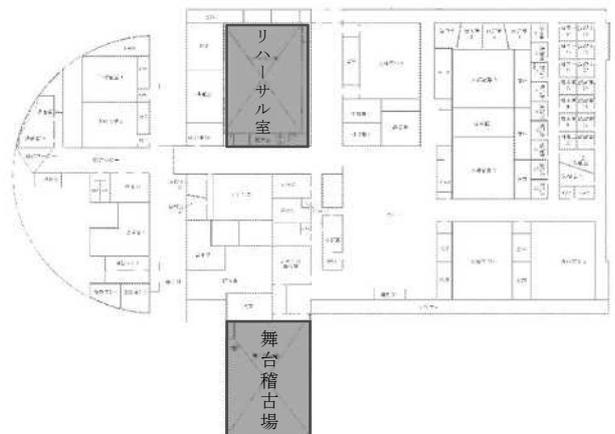
ア. 舞台稽古場	令和6年7月から10月まで（約4か月）
イ. リハーサル室	令和6年11月から令和7年2月まで（約4か月）

(参考)

① 施設概要

建築年	昭和5年 (平成7年改築・増築、平成14年増築)
構造	鉄骨造平屋建一部地上2階建 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建
面積	建築面積 9,704 m ² 延床面積 9,317 m ²
改修面積	リハーサル室天井面積 515 m ² 舞台稽古場天井面積 589 m ²

② 工事対象範囲



【情報管理事務費】

17 基幹業務システム標準化事業について

[情報システム課]

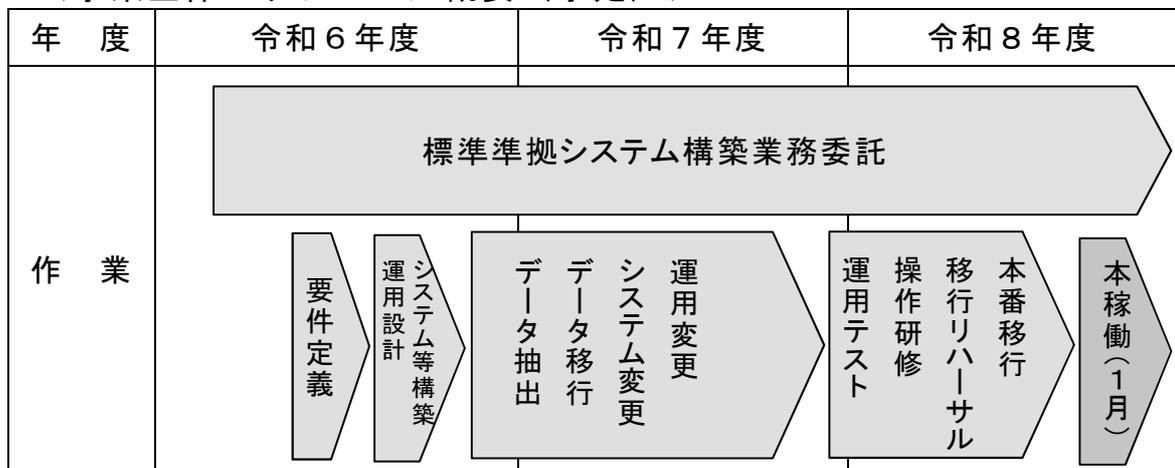
(1) 予算額 978,424千円（(3)のアの①+イ）

{	財源内訳	雑入（デジタル基盤改革支援補助金）	878,424千円
		一般財源	100,000千円

(2) 事業目的

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、市町村が取り扱う20の基幹業務について、国が示す全国共通の標準仕様に準拠した情報システムに計画的かつ円滑に移行させるため、令和6年度から本格的にシステム構築作業等を進めるもの。

<事業全体スケジュール概要（予定）>



(3) 事業内容

ア. 標準準拠システム構築業務委託

- ① 令和6年度歳出予算額 784,000千円
- ② 債務負担行為設定額（令和7～8年度）

1,424,000千円

イ. その他関連経費 194,424千円

現行システムのデータ抽出業務委託費、ガバメントクラウド等通信料など

主なガラス制作技法

【ホットワーク】

溶融したガラスを熱いうちに成形する技法。

吹きガラス技法はプロダクト作品を作ることに適しており、個人で作家活動を行う人は多い。ただし、技術の習得には時間がかかり、またガラス溶解炉などの設備負担や工房運営経費は大きい。

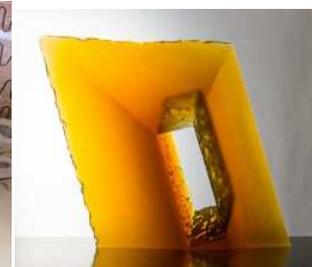


藤田創平

【キルンワーク】

電気炉でガラスを加熱し成形する技法。溶着や曲げ加工などの他、鋳造で彫刻作品を作ることができる。

陶芸同様、必要な時に稼働して効率的に制作することができ、大型作品も可能だが、制作にかかる時間は長い。

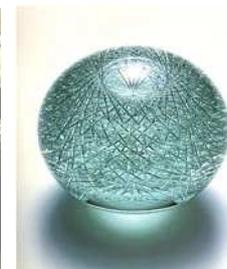


イーリ・スヒー

【コールドワーク】

ガラスをさまざまな形状に研削研磨加工する技法。

作品の仕上げに必要な技法であり、他の技法との組み合わせで、幅広い表現を可能とする。また、カットガラスのような光学的な効果を引き出すことができる。



綿谷直子

【バーナーワーク】

卓上バーナーでガラスを溶融し成形する技法。

設備負担が少なく済むことや、技術開発により吹きガラスに匹敵する大きさの制作と多彩な色ガラスの使用が可能となったこと、また環境問題への関心の高まりなどの理由から、近年国内外で人気が高まっている（国際的にはフレームワークと呼ばれる。）。



猪野屋牧子

【展覧会開催事業費】

19 富山市ガラス美術館展覧会開催事業について

[ガラス美術館]

(1) 予算額 166,000千円

うち、富山ガラス大賞展開催事業費 46,000千円

{	財源内訳	使用料（ガラス美術館観覧料等）	88,748千円
		財産売払収入（ガラス美術館図録等販売収入）	1,418千円
		雑入（その他の雑入）	25千円
		一般財源	75,809千円

(2) 事業目的

トリエンナーレ方式で行う国際公募展である「富山ガラス大賞展2024」をはじめとした大規模企画展等を通し、国内外の表現豊かな芸術作品を多くの方々に堪能していただくことにより、現代ガラス芸術が持つ魅力はもとより、「ガラスの街とやま」を世界に向けてより強く発信するとともに、令和7年度に迎える開館10周年に向けた機運の醸成を図るもの。

(3) 事業内容

ア. 年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
企画展	回顧展:大平 洋一 ヴェネツィアン・ガラス の彼方へ (3/9-6/23)			① 富山ガラス大賞展2024 (7/13-10/14)				② 没後120年 エミール・ガレ: 憧憬のパリ展 (11/2-1/26)			③ ガラスの街 とやま連携 展/研究所 卒制展 (2/8-16)		④ (仮称)富山 ガラス工房開設 30周年記念展 (3/8-6/22)
常設展	コレクション展 2023-II かさねのガラス (12/9~6/2)		コレクション展 2024-I (6/8~12/1)					コレクション展 2024-II (12/7~6月頃)					
	6階ガラス・アート・ガーデン チーフ・エクスペリエンス												

イ. 企画展

138,833千円

① 富山ガラス大賞展2024

昨今、ますます多様化するガラスアートの最前線を的確に捉え、中でも優れた入選作約50点を展示し、その魅力を発信する。

今回3回目となる本展によって、意義ある国際公募展との評価を普遍的なものとし、「ガラスの街とやま」の認知度を国内外に高める。



2021大賞 佐々木類《植物の記憶》2019年、撮影:岡本喜知郎

② 没後120年 エミール・ガレ：憧憬のパリ展

19世紀後半から20世紀初頭のフランスで、叙情性溢れるガラス作品で人々を魅了したエミール・ガレを取り上げる富山初の展覧会。

土田館長企画監修、サントリー美術館との共同開催。富山・東京巡回展。パリ装飾美術館ほか、国内外のガレ作品100点余を一挙公開。



エミール・ガレ
1889年 パリ万博 ID 写真



エミール・ガレ《脚付杯「蜻蛉」》
1903-04年 サントリー美術館

③ ガラスの街とやま連携展

本市が進める「ガラス工芸に携わる人材育成」、「ガラスの産業化の推進」、「ガラス芸術の振興」を柱としたまちづくりについて、市民への認知度を高めるため、ガラス造形研究所・

ガラス工房・ガラス美術館の3つの拠点施設の連携により、その成果を発信する。

④ (仮称) 富山ガラス工房開設30周年記念展

1994年のガラス工房開設以来、歴代所属作家の優れた作品の展示をはじめ、工房で開発された「富山曼荼羅彩」や「リメルト・ブルー」のほか、富山駅舎内にある「トランジット・ライティング・ウォール」や「フロア・シャンデリア」といった整備プロジェクトを紹介するとともに、工房の未来像も展望する。



「トランジット・ライティング・ウォール」



「フロア・シャンデリア」

ウ. その他

27,167千円

- ・ 常設展
ガラス・アート・ガーデン (6階)
コレクション展 (4階)
ガラス・アート・パサージュ (2～4階)
- ・ ストリート・ミュージアム管理等
- ・ 次年度展覧会準備
作品調査及び作家招聘等

(4) 債務負担行為

次年度(令和7年度)展覧会開催業務委託費に係る債務負担行為

期間 令和6年度から令和7年度まで

限度額 30,000千円

20 財産の無償貸付の件について

[文化国際課]

平成6年度に市が「桐朋学園大学院大学校地」として無償貸付した土地の貸付契約期間が満了を迎えることから、当該契約を更新するもの。

(1) 無償で貸付する財産

所在及び地番	地積
富山市呉羽町字宮ノ下1884番20	35.81m ²
富山市呉羽町字宮ノ下1884番25	4,440.59m ²
富山市呉羽町字宮ノ下1884番26	726.73m ²
計	5,203.13m ²

(2) 貸付の相手方

東京都調布市若葉町一丁目41番地1
学校法人桐朋学園 理事長 河原 勇人

(3) 無償貸付の期間

令和6年4月1日から30年間

21 令和6年4月行政組織の一部改正について

[行政経営課]

1 基本的な考え方

(1) 行政組織見直しの観点

簡素で効率的な組織機構の構築を目指すことを前提に、以下の3点に留意しつつ不断の見直しを行う。

- ① 新たな行政課題や重点的に取り組むべき課題に対応するための執行体制の強化
- ② 効率的な事務の執行を図るための組織のスリム化
- ③ 事務事業の実態に応じた組織の適正化

(2) 主な改正点

① 循環型社会の推進に向けた廃棄物対策の強化（環境部）

家庭ごみの減量化及び廃棄物の再資源化等の推進体制を強化するため、「廃棄物対策課」を新設するもの。

② 豪雨災害からの着実な復旧に向けた体制の強化（農林水産部）

国から激甚災害指定された「令和5年梅雨前線豪雨等」によって広範に被害を受けた農地農業用施設の災害復旧業務を着実に推進するため、農林事務所に「農地災害復旧班」を設置するもの。

③ いじめ防止等対策の体制の強化（教育委員会事務局）

いじめ防止対策推進法等に基づき、いじめの防止及び重大事態等に関し、学校その他関係機関との連携のもと、迅速かつ適切に対処する体制を構築するため、学校教育課に「いじめ対策推進班」を設置するもの。

2 課・係等に関する改正

現行	改正（案）	改正理由等
企画管理部 行政経営課 行政管理係 官民連携推進係 公共施設マネジメント推進係	企画管理部 行政経営課 行政管理係 官民連携・公共施設マネジメント係 （統合）	<ul style="list-style-type: none"> ・係の統合による組織のスリム化。
こども家庭部 こども保育課 保育所（36） 黒瀬谷保育所 福沢保育所	こども家庭部 こども保育課 保育所（34） （廃止） （廃止）	<ul style="list-style-type: none"> ・閉所に伴う廃止 ・閉所に伴う廃止
市民生活部 スポーツ健康課 ストリートスポーツパーク 八尾スポーツアリーナ 婦中体育館	市民生活部 スポーツ健康課 ストリートスポーツパーク 八尾スポーツアリーナ 婦中体育館 山田総合体育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理体制を強化するため行政組織に位置付けるもの。
環境部 環境政策課 企画係 ゼロカーボン推進係 廃棄物対策係 エコタウン交流推進センター	環境部 環境政策課 企画係 ゼロカーボン推進係 （廃棄物対策課へ業務移管） （移管）（廃棄物対策課へ）	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物対策課の新設に伴い廃棄物関連業務を移管するもの。

現行	改正（案）	改正理由等
<p>〈課の新設〉</p>	<p>廃棄物対策課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 減量推進係 (環境センター管理課から業務移管) — 廃棄物対策係 (環境政策課から業務移管) <p>エコタウン交流推進センター (環境政策課から)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ごみの減量化及び廃棄物全体にわたる施策の推進体制の強化を図るもの。
<p>環境センター</p> <p>管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 管理・施設係 — 減量推進係 — 山本最終処分場管理事務所 <p>つばき園</p> <p>業務課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 管理係 — 業務第1係 — 業務第2係 — 業務第3係 	<p>環境センター</p> <p>管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 管理・施設係 (廃棄物対策課へ業務移管) — 山本最終処分場管理事務所 <p>業務課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 管理係 — 業務第1係 — 業務第2係 — 業務第3係 <p>つばき園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物施策の企画立案機能の本庁移管に伴い、本庁組織から出先機関へ変更するもの。
<p>農林水産部</p> <p>農林事務所</p> <p>農地林務課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 農地係 — 林務係 	<p>農林水産部</p> <p>農林事務所</p> <p>農地林務課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 農地係 — 林務係 — 農地災害復旧班 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年に発生した豪雨（激甚災害指定）によって被害を受けた農地農業用施設の災害復旧業務を着実に推進するため、班を設置するもの。 (※令和7年度までの時限的措置)

現行	改正（案）	改正理由等
<p>活力都市創造部</p> <p>居住対策課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 居住誘導係 — 空き家対策係 	<p>活力都市創造部</p> <p>居住政策課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 企画係 — 空き家政策係 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や空き家の増加等諸課題に対する戦略的な住宅政策の推進に向けて、課及び係の名称を変更するもの。
<p>建設部</p> <p>営繕課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 営繕係 — 設備係 — 公共施設点検班 	<p>建設部</p> <p>営繕課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 営繕第1係 — 営繕第2係 — 設備係 <p>(廃止)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適切な維持管理、保全体制の構築のため設置した班の業務を、恒常的な業務として位置付けるとともに、公共施設の長寿命化を全庁的に推進するための体制を構築するため、2係体制へ移行するもの。
<p>教育委員会事務局</p> <p>学校教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 学務係 — 教職員係 — 指導係 — 生活指導係 <p>小学校（65）</p> <p>檜尾小学校</p>	<p>教育委員会事務局</p> <p>学校教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> — 学務係 — 教職員係 — 指導係 — 生活指導係 — いじめ対策推進班 <p>小学校（64）</p> <p>(廃止)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策推進法等に基づき、いじめの防止及び重大事態等に関し、学校その他関係機関との連携のもと、迅速かつ適切に対処するため、専門班を設置するもの。 ・八尾小学校への統合に伴う廃止
<p>教育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> — 研修係 — 教育相談係 — 情報教育係 	<p>教育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> — 研修係 — 教育相談係 — 教育DX推進係 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育データの利活用や児童生徒の個別最適な学びの充実、学校現場の業務効率化のための教育DX推進に向けて、係の名称を変更するもの。

3 組織の増減数

区分		課	室	班	係	出先機関	合計
現行		89	1	2	333	367	792
改正案	増	1		2	1	1	5
	減			△ 1	△ 1	△ 3	△ 5
	差引	1	0	1	0	△ 2	0
改正後		90	1	3	333	365	792

(部局別組織数)

区分	課	室	班	係	出先機関	合計
企画管理部	9	0	0	23 (△1)	7	39 (△1)
財務部	8	0	0	25	0	33
防災危機管理部	2	0	0	3	0	5
福祉保健部	10	0	0	50	10	70
こども家庭部	4	0	0	10	37 (△2)	51 (△2)
市民生活部	4	0	0	26	93 (+1)	123 (+1)
環境部	5 (+1)	0	0	12	3	20 (+1)
商工労働部	4	0	0	8	3	15
農林水産部	6	1	2 (+1)	20	2	31 (+1)
活力都市創造部	7	0	0	19	0	26
建設部	10	0	0 (△1)	24 (+1)	0	34 (±0)
会計管理者	1	0	0	3	0	4
議会事務局	2	0	0	3	0	5
選挙管理委員会事務局	0	0	0	1	0	1
監査委員事務局	0	0	0	2	0	2
農業委員会事務局	0	0	0	3	0	3
教育委員会事務局	8	0	1 (+1)	25	195 (△1)	229 (±0)
消防局	10	0	0	76	15	101
計	90 (+1)	1 (±0)	3 (+1)	333 (±0)	365 (△2)	792 (±0)

※ () の数字は、現行との増減数

※ 課のある出先機関は、出先機関内の課の数をカウントし、出先機関の数には含まれていない。(保健所、環境センター、科学博物館、富山消防署、富山北消防署)

※ 外国語専門学校、ガラス造形研究所、ガラス美術館は企画管理部でのみ計上。